

西暦	年号	輸入量	西暦	年号	輸入量
1930年	昭和5年	11,348	1969年	昭和44年	237,171
1931年	昭和6年	11,581	1970年	昭和45年	298,253
1932年	昭和7年	10,843	1971年	昭和46年	273,757
1933年	昭和8年	16,154	1972年	昭和47年	278,582
1934年	昭和9年	22,710	1973年	昭和48年	341,540
1935年	昭和10年	23,519	1974年	昭和49年	352,110
1936年	昭和11年	28,484	1975年	昭和50年	253,097
1937年	昭和12年	43,796	1976年	昭和51年	325,346
1938年	昭和13年	29,901	1977年	昭和52年	300,636
1939年	昭和14年	44,146	1978年	昭和53年	234,901
1940年	昭和15年	31,361	1979年	昭和54年	291,531
1941年	昭和16年	18,000	1980年	昭和55年	305,408
1942年	昭和17年	0	1981年	昭和56年	237,963
1943年	昭和18年	0	1982年	昭和57年	229,125
1944年	昭和19年	0	1983年	昭和58年	237,413
1945年	昭和20年	0	1984年	昭和59年	239,747
1946年	昭和21年	0	1985年	昭和60年	261,648
1947年	昭和22年	0	1986年	昭和61年	255,732
1948年	昭和23年	0	1987年	昭和62年	277,238
1949年	昭和24年	1,205	1988年	昭和63年	320,393
1950年	昭和25年	6,639	1989年	平成元年	295,168
1951年	昭和26年	20,808	1990年	平成2年	287,659
1952年	昭和27年	13,352	1991年	平成3年	272,088
1953年	昭和28年	18,905	1992年	平成4年	242,274
1954年	昭和29年	20,281	1993年	平成5年	209,846
1955年	昭和30年	20,400	1994年	平成6年	199,836
1956年	昭和31年	33,388	1995年	平成7年	191,475
1957年	昭和32年	49,464	1996年	平成8年	177,869
1958年	昭和33年	37,738	1997年	平成9年	176,021
1959年	昭和34年	53,684	1998年	平成10年	120,813
1960年	昭和35年	77,056	1999年	平成11年	117,143
1961年	昭和36年	114,815	2000年	平成12年	98,595
1962年	昭和37年	96,674	2001年	平成13年	79,463
1963年	昭和38年	115,492	2002年	平成14年	43,390
1964年	昭和39年	143,969	2003年	平成15年	24,653
1965年	昭和40年	133,522	2004年	平成16年	8,186
1966年	昭和41年	146,294	2005年	平成17年	110
1967年	昭和42年	188,741	2006年	平成18年	0
1968年	昭和43年	199,415			

別紙 6 - 2

吹付け材の石綿の種類、使用時期及び含有率

	石綿の種類	石綿使用時期	石綿含有率(%)
吹付け石綿	クリソタイル, アモサイト クロシドライト	～昭和 50 年	60～70
石綿含有吹付けロックウール(乾式)	クリソタイル	～昭和 55 年	30 以下
石綿含有吹付けロックウール(湿式)	クリソタイル	～昭和 63 年	5 以下
石綿含有ひる石吹付け	不明	～昭和 63 年	25 以下
石綿含有パーライト吹付け	クリソタイル	～平成元年	1～10

- 注 1) 石綿含有率は質量%で示す。
 注 2) 石綿含有吹付けロックウール(乾式)の石綿含有率は、昭和 51 年以降は 5%以下である。
 注 3) 石綿含有吹付けロックウール(乾式)は、一社のみが昭和 62 年まで使用していた。
 注 4) 石綿含有吹付けロックウール(湿式)は、一社のみが平成元年まで使用していた。
 注 5) 石綿含有ひる石吹付けの石綿含有率は、昭和 52 年以降は 5%以下である。

別紙 6 - 3

吹付け石綿の施工量 (t)

年	施工量	年	施工量
昭和30年	255	昭和40年	3,675
昭和31年	445	昭和41年	4,429
昭和32年	521	昭和42年	6,453
昭和33年	462	昭和43年	7,923
昭和34年	875	昭和44年	10,143
昭和35年	1,514	昭和45年	11,707
昭和36年	2,488	昭和46年	19,196
昭和37年	2,488	昭和47年	20,987
昭和38年	3,081	昭和48年	17,131
昭和39年	3,986	昭和49年	9,617
		合 計	127,376

- 注 1) 平成 7 年度環境庁委託業務結果報告書「構築物の解体・撤去等に係わるアスベスト飛散防止対策について」から引用。
 注 2) 昭和 30～45 年は推定値。
 注 3) 合計は昭和 30～49 年の値。

別紙 6 - 4

吹付けロックウール(乾式)の施工面積(千㎡)

年	吸音断熱用	耐火被覆用
昭和43年	1,413	663
昭和44年	1,813	1,159
昭和45年	2,588	2,177
昭和46年	4,075	2,798
昭和47年	5,451	4,540
昭和48年	2,837	4,564
昭和49年	2,999	4,548
昭和50年	3,460	4,691
昭和51年	4,031	6,236
昭和52年	3,949	7,003
昭和53年	3,671	7,787
昭和54年	3,921	8,979
合 計	40,208	55,145

- 注 1) ロックウール工業会調べ。
 注 2) 石綿を含まない製品の値を含む。
 注 3) 合計は昭和 43～54 年の値。
 注 4) 1 社のごく一部の製品は昭和 62 年まで石綿を含む。 2

別紙 6 - 5

保温材、断熱材及び耐火被覆板の石綿の種類、使用時期及び含有率

		石綿の種類	石綿使用時期	石綿含有率 (%)
石綿含有保温材	石綿保温材	クリソタイル, アモサイト	～昭和 55 年	90 以上
	けいそう土保温材	アモサイト	～昭和 49 年	1～10
	パーライト保温材	アモサイト	～昭和 55 年	1～5
	けい酸カルシウム保温材	クリソタイル, アモサイト	～昭和 55 年	1～25
	水練り保温材	クリソタイル, アモサイト	～昭和 63 年	1～25
石綿含有断熱材	屋根折版用断熱材	クリソタイル	～昭和 57 年	90 以上
		クロシドライト	～昭和 45 年	90 以上
	煙突断熱材	アモサイト	～昭和 62 年	90 以上
石綿含有耐火被覆板	耐火被覆板	クリソタイル, アモサイト クロシドライト	～昭和 58 年	25～70
	けい酸カルシウム板第二種	クリソタイル, アモサイト	～平成 3 年	20～25

注) 石綿含有率は質量%で示しており、製造メーカー及び製品によって異なっているので範囲で示した。

別紙 6 - 6

調査した石綿含有建築材料成形板

石綿含有建築材料一般名	石綿の種類	石綿使用時期
石綿含有スレート波板	クリソタイル ^{注1)}	～平成 16 年
石綿含有スレートボード	クリソタイル ^{注2)}	～平成 16 年
石綿含有けい酸カルシウム板第一種	クリソタイル, アモサイト	～平成 16 年
石綿含有押出成形セメント板	クリソタイル	～平成 16 年
石綿含有パルプセメント板	クリソタイル	～平成 16 年
石綿含有スラグせっこう板	クリソタイル	～平成 16 年
石綿含有サイディング	クリソタイル	～平成 16 年
石綿含有住宅屋根用化粧スレート	クリソタイル	～平成 16 年
石綿含有ロックウール吸音天井板	クリソタイル	～昭和 62 年
石綿含有せっこうボード	クリソタイル	～昭和 61 年
石綿含有セメント円筒	クリソタイル	～平成 16 年
石綿含有フリーアクセスフロア	クリソタイル	～昭和 63 年
石綿含有ビニル床タイル	クリソタイル ^{注3)}	～昭和 63 年

注1) 石綿含有スレート波板のごく一部にはクロシドライト (2社のみ、昭和 45～57年) 及びアモサイト (1社のみ、昭和 50～61年) を使用されていた。

注2) 石綿含有スレートボードのごく一部にはアモサイト (2社のみ、昭和 53～60年) が使用されていた。

注3) 石綿含有ビニル床タイルは、工業会が解散しているため主要メーカー (3社) のみを調査した。なお、1社のみ、生産量は極めて少ないが、特殊用途 (耐酸性) にトレモライトが使用されている時期がある。

成形板の石綿含有率 (質量%)

年	石綿含有 スレート波板	石綿含有 スレートボード	石綿含有 けい酸カルシウム板第一種	石綿含有 押出成形セメント板	石綿含有 パルプセメント板	石綿含有 スラグせつこう板	石綿含有 サイディング	石綿含有 住宅屋根用化粧スレート	石綿含有 ロックウール 吸音天井板	せつこうボード		石綿含有 セメント円筒	石綿含有 フリーアクセスフロア	石綿含有 ビニル床タイル
										原紙部	基材部			
昭和46年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	—	15	15-25	4-15
昭和47年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	—	15	15-25	4-15
昭和48年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	—	15	15-25	4-15
昭和49年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	—	15	15-25	4-15
昭和50年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	—	15	15-25	4-15
昭和51年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	—	15	15-25	4-15
昭和52年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和53年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和54年	15	20	25	12	—	—	15	15	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和55年	15	18	20	12	—	—	10	15	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和56年	12	18	20	12	—	5	10	12	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和57年	12	18	20	12	—	5	10	12	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和58年	12	15	20	12	—	5	10	12	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和59年	12	15	20	12	—	5	10	12	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和60年	12	15	20	12	5	5	10	12	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和61年	12	15	15	12	5	5	5	12	4	1	4.5	15	15-25	4-15
昭和62年	12	12	15	12	5	5	5	12	4	—	—	15	15-25	4-15
昭和63年	12	12	15	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成元年	12	12	15	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成 2年	12	12	10	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成 3年	10	10	10	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成 4年	10	10	10	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成 5年	10	10	5	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成 6年	10	10	5	12	5	5	5	12	—	—	—	15	—	—
平成 7年	10	10	5	12	5	5	5	10	—	—	—	15	—	—
平成 8年	10	10	5	12	5	5	5	10	—	—	—	15	—	—
平成 9年	10	10	5	12	5	5	5	10	—	—	—	15	—	—
平成10年	10	10	5	12	5	5	5	8	—	—	—	15	—	—
平成11年	10	10	5	12	5	5	5	8	—	—	—	15	—	—
平成12年	10	10	5	12	5	5	5	8	—	—	—	15	—	—
平成13年	10	10	5	12	5	5	5	8	—	—	—	15	—	—

注 1) 石綿含有けい酸カルシウム板第一種は、平成5年以降はアモサイト石綿を使用していない。

注 2) サイディングは、製造工場により石綿製品と無石綿製品がある。

注 3) 石綿含有ロックウール吸音天井板は、昭和62年以降はクリソイル石綿を使用していない。また、昭和61年以前のものでも、石綿入りのものと石綿なしのものがある。

注 4) 石綿含有ビニル床タイルは、主要メーカー(3社)のみの調査結果である。

石綿含有建築材料（成形板）の出荷量（千㎡）

年	石綿含有 スレート波板	石綿含有 スレートボード	石綿含有 けい酸カルシウム板 第一種	石綿含有 押出成形セメント板	石綿含有 パルプセメント板	石綿含有 スラグせつこう板	石綿含有 サイディング	石綿含有 住宅屋根用化粧 スレート	石綿含有 ロックウール吸音 天井板
昭和46年	73,323	31,580	1,424	30	—	—	70	5,700	12,040
昭和47年	71,449	38,204	3,213	50	—	—	1,100	8,500	15,000
昭和48年	88,280	50,342	4,604	80	—	—	2,900	12,200	17,800
昭和49年	64,575	39,794	4,620	130	—	—	2,200	11,900	14,070
昭和50年	53,121	34,890	6,662	200	—	—	1,700	10,900	11,880
昭和51年	56,478	37,717	9,959	300	—	—	1,900	13,700	12,185
昭和52年	59,342	34,302	10,616	400	—	—	2,700	13,900	13,540
昭和53年	53,004	35,521	11,981	500	—	—	3,500	15,100	14,960
昭和54年	60,725	36,813	14,397	620	—	—	5,200	18,600	16,600
昭和55年	56,879	35,506	16,126	750	—	—	4,500	17,000	16,790
昭和56年	49,752	33,458	15,645	900	—	874	5,000	15,100	16,310
昭和57年	46,789	34,920	18,465	1,050	—	582	5,700	16,700	12,500
昭和58年	41,505	33,458	20,276	1,150	—	501	6,800	18,300	10,210
昭和59年	44,856	32,728	22,919	1,350	—	1,707	7,600	19,900	9,880
昭和60年	44,591	32,799	24,240	1,600	7,882	8,563	8,880	21,700	10,210
昭和61年	37,111	32,762	24,941	1,850	8,026	9,692	11,000	25,600	7,730
昭和62年	34,593	36,922	27,153	2,400	7,742	11,314	14,700	32,700	5,060
昭和63年	36,335	41,473	32,036	2,700	8,614	13,569	9,400	38,600	—
平成元年	36,164	41,524	33,830	3,100	4,641	14,122	5,200	38,500	—
平成 2年	34,830	46,676	38,772	3,550	5,871	11,313	4,200	39,000	—
平成 3年	37,880	41,132	40,244	3,750	5,234	11,959	2,500	36,000	—
平成 4年	31,088	29,152	19,988	4,020	4,903	14,425	2,400	35,400	—
平成 5年	23,777	24,489	5,356	3,610	5,318	16,321	2,300	35,400	—
平成 6年	19,461	21,505	3,961	3,150	3,716	16,005	3,500	38,700	—
平成 7年	18,233	20,256	4,109	3,380	3,255	14,996	2,300	42,100	—
平成 8年	17,470	19,218	4,339	3,700	3,366	15,523	1,700	42,000	—
平成 9年	16,574	17,597	3,286	3,780	3,145	15,120	1,500	36,800	—
平成10年	13,662	12,776	2,996	3,180	2,236	12,422	—	28,000	—
平成11年	12,769	10,728	2,785	2,920	1,951	12,109	—	28,200	—
平成12年	10,179	10,786	912	3,200	1,594	8,200	—	25,100	—
平成13年	8,887	8,845	157	2,900	229	1,575	—	19,000	—
合計	1,253,682	957,873	430,012	60,300	77,723	210,892	120,450	760,300	216,765

注1) 石綿含有スレート波板、石綿含有スレートボード及び石綿含有けい酸カルシウム板第一種は、せんい強化セメント板協会調べ。石綿含有押出成形セメント板は、ECP協会調べ。石綿含有パルプセメント板及び石綿含有スラグせつこう板は、セメントファイバーボード工業組合調べ。石綿含有サイディング及び石綿含有住宅屋根用化粧スレートは、(社)日本石綿協会調べ。石綿含有ロックウール吸音天井板は、ロックウール工業会調べ。

注2) 石綿含有スレートボードは、石綿含有パルプセメント板、石綿含有スラグせつこう板厚さを3mmに換算した値。

注3) 石綿含有けい酸カルシウム板第一種は、厚さを6mmに換算した値。

注4) 石綿含有サイディングは、平成10年度以降は石綿含有製品としての出荷量は不明。

別表1 昭和45年度から平成16年度までにおける主要産業別の労働者人口、じん肺症又はじん肺症及びじん肺合併症(じん肺症等)の発生件数等

年度	製造業労働者数	製造業労働者数 (窯業・土石製品製造業のみ)	鉱業労働者数	建設業労働者数
	じん肺症(昭和53年度以前)又は じん肺症及びじん肺合併症(昭和54年 度以降)発生件数	じん肺症(昭和53年度以前)又は じん肺症及びじん肺合併症(昭和54年 度以降)発生件数	じん肺症(昭和53年度以前)又は じん肺症及びじん肺合併症(昭和54年 度以降)発生件数	じん肺症(昭和53年度以前)又は じん肺症及びじん肺合併症(昭和54年 度以降)発生件数
昭和 45 年度	10,509,900	494,400	190,200	2,375,800
	298 (0.28)	197 (3.98)	419 (22.03)	77 (0.32)
昭和 46 年度	10,016,300	442,800	161,800	2,638,200
	372 (0.37)	227 (5.13)	453 (28.00)	103 (0.39)
昭和 47 年度	10,293,500	504,200	148,400	2,764,100
	374 (0.36)	252 (5.00)	317 (21.36)	124 (0.45)
昭和 48 年度	10,593,500	502,000	132,800	2,968,800
	399 (0.38)	237 (4.72)	655 (49.32)	190 (0.64)
昭和 49 年度	10,304,200	494,500	127,100	3,079,100
	527 (0.51)	350 (7.08)	547 (43.04)	216 (0.70)
昭和 50 年度	9,984,000	471,000	108,900	2,246,100
	583 (0.58)	359 (7.62)	678 (62.26)	282 (1.26)
昭和 51 年度	9,937,800	502,600	116,400	2,321,500
	626 (0.63)	402 (8.00)	705 (60.57)	411 (1.77)
昭和 52 年度	9,789,600	494,900	102,400	2,362,200
	629 (0.64)	417 (8.43)	884 (86.33)	516 (2.18)
昭和 53 年度	9,700,200	465,900	106,500	2,524,600
	449 (0.46)	266 (5.71)	679 (63.76)	382 (1.51)
昭和 54 年度	9,742,600	505,100	99,500	2,759,700
	765 (0.79)	482 (9.54)	1,231 (123.72)	484 (1.75)
昭和 55 年度	9,851,600	504,600	98,200	2,672,300
	633 (0.64)	423 (8.38)	1,175 (119.65)	546 (2.04)
昭和 56 年度	9,841,100	477,600	94,900	2,798,600
	606 (0.62)	402 (8.42)	1,020 (107.48)	596 (2.13)
昭和 57 年度	9,968,800	439,300	86,100	2,732,000
	579 (0.58)	350 (7.97)	949 (110.22)	732 (2.68)
昭和 58 年度	9,941,900	440,100	94,600	2,664,100
	554 (0.56)	323 (7.34)	847 (89.53)	744 (2.79)
昭和 59 年度	10,066,200	425,900	77,000	2,590,300
	469 (0.47)	296 (6.95)	563 (73.12)	518 (2.00)
昭和 60 年度	10,196,800	421,600	74,900	2,525,000
	390 (0.38)	276 (6.55)	557 (74.37)	418 (1.66)
昭和 61 年度	10,312,300	447,300	77,400	2,601,000
	420 (0.41)	235 (5.25)	579 (74.81)	451 (1.73)
昭和 62 年度	10,306,700	466,300	73,000	2,518,500
	359 (0.35)	214 (4.59)	591 (80.96)	445 (1.77)
昭和 63 年度	10,476,800	462,400	61,300	2,757,200
	332 (0.32)	206 (4.46)	599 (97.72)	362 (1.31)

平成	1 年度	11,319,300 351 (0.31)	510,500 210 (4.11)	76,600 503 (65.67)	3,310,600 336 (1.01)
平成	2 年度	11,522,900 300 (0.26)	505,000 168 (3.33)	74,400 496 (66.67)	3,337,700 374 (1.12)
平成	3 年度	11,654,200 289 (0.25)	524,300 163 (3.11)	74,500 484 (64.97)	3,577,500 317 (0.89)
平成	4 年度	11,225,800 289 (0.26)	456,800 158 (3.46)	63,800 446 (69.91)	3,519,500 394 (1.12)
平成	5 年度	11,087,000 246 (0.22)	470,400 136 (2.89)	64,400 414 (64.29)	3,769,700 344 (0.91)
平成	6 年度	10,895,400 272 (0.25)	447,600 149 (3.33)	66,300 494 (74.51)	3,991,700 481 (1.21)
平成	7 年度	10,746,200 308 (0.29)	416,000 164 (3.94)	64,500 451 (69.92)	4,133,400 558 (1.35)
平成	8 年度	10,658,200 326 (0.31)	425,500 152 (3.57)	62,200 541 (86.98)	4,387,500 604 (1.38)
平成	9 年度	10,651,500 314 (0.29)	431,900 168 (3.89)	61,200 504 (82.35)	4,453,600 586 (1.32)
平成	10 年度	10,364,600 323 (0.31)	420,300 180 (4.28)	46,700 437 (93.58)	3,884,800 425 (1.09)
平成	11 年度	10,186,400 343 (0.34)	409,100 190 (4.64)	45,900 467 (101.74)	3,919,700 452 (1.15)
平成	12 年度	10,037,100 319 (0.32)	398,100 184 (4.62)	44,200 462 (104.52)	3,982,800 377 (0.95)
平成	13 年度	9,642,400 289 (0.30)	369,300 166 (4.49)	40,100 364 (90.77)	4,058,900 313 (0.77)
平成	14 年度	9,374,100 262 (0.28)	367,300 159 (4.33)	47,000 353 (75.11)	3,972,900 334 (0.84)
平成	15 年度	8,512,600 244 (0.29)	309,000 138 (4.47)	35,000 345 (98.57)	3,070,000 253 (0.82)
平成	16 年度	8,531,100 249 (0.29)	301,800 140 (4.64)	32,600 313 (96.01)	3,069,800 241 (0.79)
最大値		11,654,200 765 (0.79)	524,300 482 (9.54)	190,200 1,231 (123.72)	4,453,600 744 (2.79)
平均値		10,235,503 403 (0.40)	449,297 244 (5.38)	83,737 586 (76.97)	3,152,549 400 (1.31)

※1 じん肺症又はじん肺症及びじん肺合併症の発症率()内の数値)については、じん肺症又はじん肺症及びじん肺合併症件数を労働者人口で除したものに1万を乗じたもの(パーミリオド)

※2 本表は、産業別労働者人口については各年度の「雇用動向調査報告」より、産業別じん肺症又はじん肺症及びじん肺合併症の発生件数については各年度の「業務上疾病発生状況(業種別・疾病別)」より算出したものである。

別紙 6-9-2

別表2 平成17年度から平成26年度までににおける主要産業別の労働者人口、アスペクト関連疾患発生件数等

産業労働者人口 (業種・土石炭鉄鋼鉱業のみ)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	最大値	平均値
	8,594,800 109 (0.13) 246 (0.29) 石綿肺 良性石綿胸水 びまん性胸膜肥厚 アスペクト関連疾患 (累計)	8,712,900 547 (0.63) 748 (0.80) 石綿肺 良性石綿胸水 びまん性胸膜肥厚 アスペクト関連疾患 (累計)	8,814,000 238 (0.27) 229 (0.20) 石綿肺 良性石綿胸水 びまん性胸膜肥厚 アスペクト関連疾患 (累計)	8,593,000 259 (0.30) 283 (0.33) 4 (0.00) 12 (0.01) 8 (0.01) 566 (0.66)	8,268,300 229 (0.28) 262 (0.32) 4 (0.00) 9 (0.01) 10 (0.01) 513 (0.62)	8,268,900 166 (0.20) 220 (0.27) 1 (0.00) 14 (0.02) 16 (0.02) 417 (0.50)	8,113,000 172 (0.21) 214 (0.26) 30 (0.04) 19 (0.02) 20 (0.02) 461 (0.57)	8,054,800 148 (0.18) 201 (0.32) 26 (0.03) 24 (0.03) 16 (0.02) 477 (0.50)	7,909,600 144 (0.18) 211 (0.26) 37 (0.05) 20 (0.03) 17 (0.02) 429 (0.54)	7,900,000 145 (0.18) 198 (0.25) 20 (0.03) 15 (0.02) 15 (0.02) 303 (0.49)	7,900,000 547 (0.63) 748 (0.86) 37 (0.05) 24 (0.03) 20 (0.02) 1,295 (1.49)	8,814,600 216 (0.26) 287 (0.34) 16 (0.02) 14 (0.02) 15 (0.02) 537 (0.64)
総労働者人口 (業種・土石炭鉄鋼鉱業のみ)	288,400	289,200	295,000	290,600	242,700	240,900	250,300	255,500	251,400	250,000	295,000	263,000
肺がん	50 (1.69)	50 (1.69)	50 (1.69)	39 (1.50)	44 (1.81)	34 (1.38)	27 (1.08)	23 (0.90)	24 (0.95)	19 (0.76)	50 (1.81)	33 (1.26)
中皮腫	24 (0.81)	24 (0.81)	24 (0.81)	35 (1.34)	28 (1.07)	23 (0.93)	22 (0.88)	32 (1.25)	21 (0.84)	22 (0.88)	35 (1.34)	25 (1.00)
石綿肺	3 (0.12)	3 (0.12)	3 (0.12)	3 (0.12)	3 (0.12)	0 (0.00)	14 (0.56)	4 (0.16)	14 (0.56)	6 (0.24)	14 (0.56)	6 (0.22)
良性石綿胸水	2 (0.08)	2 (0.08)	2 (0.08)	2 (0.08)	1 (0.04)	1 (0.04)	4 (0.16)	5 (0.20)	2 (0.08)	3 (0.12)	5 (0.20)	2 (0.09)
びまん性胸膜肥厚	2 (0.08)	2 (0.08)	2 (0.08)	2 (0.08)	5 (0.21)	4 (0.16)	4 (0.16)	4 (0.16)	3 (0.12)	1 (0.04)	5 (0.21)	3 (0.12)
アスペクト関連疾患 (累計)	74 (2.51)	79 (3.20)	81 (3.11)	81 (3.11)	79 (3.20)	82 (2.51)	71 (2.84)	60 (2.00)	64 (2.55)	51 (2.04)	81 (3.25)	69 (2.60)
鉱業労働者人口 (累計)	33,000	30,700	30,300	23,600	23,300	22,600	20,000	21,100	23,200	22,500	33,000	25,090
肺がん	0 (0.00)	0 (0.00)	3 (0.99)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.95)	0 (0.00)	1 (0.44)	3 (0.99)	1 (0.24)
中皮腫	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.60)	1 (0.42)	2 (0.06)	3 (1.33)	0 (0.00)	1 (0.47)	0 (0.00)	1 (0.44)	3 (1.33)	1 (0.47)
石綿肺	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
良性石綿胸水	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
びまん性胸膜肥厚	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
アスペクト関連疾患 (累計)	0 (0.00)	0 (0.00)	5 (1.65)	1 (0.42)	2 (0.86)	3 (1.33)	0 (0.00)	3 (1.42)	0 (0.00)	2 (0.89)	5 (1.65)	2 (0.66)
建設業労働者人口 (累計)	3,041,100	3,072,100	3,146,400	2,538,800	2,558,200	2,508,400	2,593,500	2,540,500	2,668,100	2,789,100	3,146,400	2,790,720
肺がん	80 (0.26)	428 (1.39)	200 (0.63)	250 (1.02)	266 (1.04)	251 (0.99)	206 (0.80)	243 (0.96)	217 (0.81)	219 (0.79)	428 (1.39)	243 (0.89)
中皮腫	213 (0.70)	678 (2.21)	258 (0.82)	266 (1.06)	272 (1.06)	232 (0.90)	294 (1.14)	331 (1.30)	277 (1.04)	282 (1.01)	679 (2.21)	310 (1.12)
石綿肺	0 (0.00)	0 (0.00)	4 (0.02)	4 (0.02)	0 (0.00)	4 (0.02)	33 (0.13)	40 (0.16)	30 (0.15)	50 (0.18)	50 (0.18)	24 (0.09)
良性石綿胸水	16 (0.05)	12 (0.04)	16 (0.05)	16 (0.05)	12 (0.04)	18 (0.07)	18 (0.07)	19 (0.07)	19 (0.07)	13 (0.05)	19 (0.07)	16 (0.05)
びまん性胸膜肥厚	47 (0.07)	21 (0.08)	47 (0.07)	47 (0.07)	21 (0.08)	13 (0.05)	27 (0.10)	20 (0.08)	30 (0.11)	29 (0.10)	30 (0.11)	22 (0.09)
アスペクト関連疾患 (累計)	200 (0.66)	1,105 (3.60)	518 (1.65)	562 (2.21)	571 (2.23)	518 (2.02)	578 (2.24)	633 (2.57)	532 (2.18)	593 (2.13)	1,105 (3.60)	590 (2.10)

※1 アスペクト関連疾患率()内の数値)については、アスペクト関連疾患発生件数を労働者人口で除したものを1万を乗じたもの(パーミリアド)

※2 本表は、産業別労働者人口については各年度の「雇用動向調査報告」より、産業別アスペクト関連疾患発生件数については各年度の「石綿による労災保険給付などの請求・決定状況」とより算出したものである。